



葛巻町とふるさと会のますますの発展を祈し出席者全員で記念撮影

ふるさとに思いを寄せ、100人出席 葛巻ふるさと会総会

葛巻ふるさと会（落宰房会長、会員330人）の第26回総会は2月5日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開催され、出席した会員ら約100人が久しぶりの再会を喜び、懐かしい思い出話に花を咲かせました。

総会で落宰房会長は「みんながふるさと会を盛り上げて、来年もまた参加したいと思えるような会にしていきたい」とあいさつ。その後、事業計画や収支予算、役員改選などの議案が満場一致で承認されました。

鈴木重男町長は「皆さまのより一層のご活躍を祈念します。今後ともふるさと葛巻を案じていただき、町へのご支援ご協力をお願いしたい」と祝辞を述べました。

続いて、当町から出席した総務企画課いらっしやい葛巻推進室の職員が、町の人口の現状と目標、移住定住関係の新たな施策などを紹介し、協力を呼びかけました。

懇親会は、くずまきワインで

乾杯が行われ、山ぶどうの香りに参加者は、ふるさと葛巻に思いを寄せていました。

この日は、葛巻コールドアローによるミニコンサートも行われ、参加者は一緒に歌ったり、手拍子をしたりして、美しい歌声に酔いしれました。

■新役員紹介（敬称略）

- ▽顧問 佐々木由三、西村専次
- ▽会長 落宰房夫
- ▽副会長 阿部勝彦、五老辰雄
- ▽幹事長 森 邦弘
- ▽幹事 寺岡俊雄、鍋倉正克
- 抱石定雄、吉澤靖博、幅 弘
- 遠藤美樹、工藤博子
- ▽会計 筆 範子
- ▽監事 林 久信

※任期は平成29〜30年

町民スキー・スノーボード大会

ski & snowboarding championship

第43回町民スキー大会、第8回町民スノーボード大会は2月19日、平庭高原スキー場で行われ、小学生から一般まで29人が参加し、大回転でタイムを競いました。



大会最高齢の藤岡一雄さん(85歳)の華麗な滑り

■各クラス第1位紹介（敬称略）

区分	クラス	氏名	タイム
スキー	小学校A (1~2年生)	山岸 梨来 (五日市小1年)	1分12秒40
		日向 瑛美 (江刈小2年)	1分20秒70
	小学校B (3~4年生)	千葉 翔太 (江刈小3年)	59秒03
		山岸 千笑 (五日市小4年)	1分18秒79
	小学校C (5~6年生)	千葉 翼 (江刈小5年)	56秒89
		吉澤 浩太 (葛巻中3年)	51秒11
	中学校	滝又 輝 (市部内・28歳)	46秒01
		千葉 郁男 (葛巻クラブ・51歳)	44秒62
		波紫 尚子 (大沢・33歳)	1分03秒41
		楢山 信悦 (田子・66歳)	45秒57
遠藤 圭心 (葛巻小5年)		1分32秒08	
スノーボード	小学校C (5~6年生)	遠藤 圭心 (葛巻小5年)	1分32秒08
	高校・一般A (16~34歳)	楢木 裕太 (茶屋場・31歳)	58秒56
	高校・一般B (35~54歳)	遠藤 孝則 (茶屋場・40歳)	55秒80



魅力あるまちづくりへ決意を新たにしたパネリストら。左から岩手町(株)アンドファームの三浦さん、深谷雫石町長、鹿児島県霧島市の前田市長、民部田岩手町長、鈴木町長、JA新しいわて青年部葛巻支部長の藤森さん、しずくいし軽トラック市実行委員長の相澤さん、2人口減少対策について熱く語る前田霧島市長、3地域活性化のキーワードを「一人一人が主役」とした藤森さん、4まちづくりのキーワードを「夢しか実現するものはない」とした鈴木町長



=葛巻町・雫石町・岩手町= 3町連携サミット

魅力あるまちづくりへ 決意発信

葛巻、雫石、岩手の岩手郡3町主催の「3町自治体サミット2017」が2月12日、岩手町の森のアリーナで開催されました。地方の人口減少が進む中、魅力あるまちづくりへの決意を発信しようとしたサミットで今回が3回目。今回は「めざせ日本一！地域力を高め今こそ立ち上がる」をテーマに、町長と町民らが活発に意見を交わしました。

3町の町民や関係者ら約600人が参加。このうち当町からは約70人が参加し、人口減少時代に対応した魅力あるまちづくりへ気持ちを新たにしました。

第1部では、鹿児島県霧島市の前田終止市長（69歳）が「ふるさとへの創生に向けて新たな挑戦、舞台は霧島！市民が主役！」と題して基調講演。同市は、平成22年度からの5年間で、九州7県における移住者の多い市町村1位を獲得しています。前田市長は「新規雇用の創出と地元就職の徹底、きめ細かい子育て支援策など、丁寧なふるさとへの魅力づくりに取り組むことで人口減少にブレーキをかけられる」と主張しました。

第2部では「めざせ日本一！わが町の魅力を全国に発信」と題したパネル討論が行われ、鈴木重男町長、深谷政光雫石町長、民部田幾夫岩手町長が、今後の町づくりの方向性について熱く語りました。また、JA新しいわて青年部葛

巻支部長の藤森康隆さん（37歳）、しずくいし軽トラック市実行委員長の相澤潤一さん（49歳）、岩手町の野菜農家で(株)アンドファーム販売企画部長の三浦大樹さん（32歳）が実践している活動を紹介します。また、町の魅力や将来展望、課題などを語り合いました。

藤森さんは町内全小学校で行った酪農出前授業を紹介し「酪農の魅力子どもたちに感じてもらえたいし、今後も一緒に魅力発信を伝えていきたい」と語り、地域活性化について「一人一人ができることをして、その力が結果すれば、どんな困難も乗り越えられ、活気ある町になる」と強調しました。

第3部では、各町長がまちづくりの決意を力強く宣言。鈴木町長は「厳しい環境下であり、何もしなければ消滅する自治体が必要出てくる。特色ある取り組みを推進し、町が一丸となり、夢に向かって果敢に挑戦していく」と力を込めました。